

令和4年10月14日

保護者 様

鳥栖市立鳥栖中学校
校長 中島 達也

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和4年度全国学力・学習状況調査について

令和4年4月19日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点の全てにおいて、全国の平均正答率を下回っていました。しかし、「知識・技能」については県の平均正答率と同程度でした。
- ・「スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す問題」や「意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する問題」等では、全国の平均正答率を上回っていました。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点の全てにおいて、全国の平均正答率を下回っていました。また、4つの領域全てにおいても、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・「箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ問題」では全国の平均正答率を上回っていました。

(3) 理科について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・評価の観点の全てにおいて、全国の平均正答率を下回っていました。しかし、「知識・技能」については県の平均正答率と同程度でした。
- ・「地球」を柱とする領域は、全国の平均正答率と同程度でした。
- ・「水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する問題」では、全国の平均正答率を大きく上回っていました。

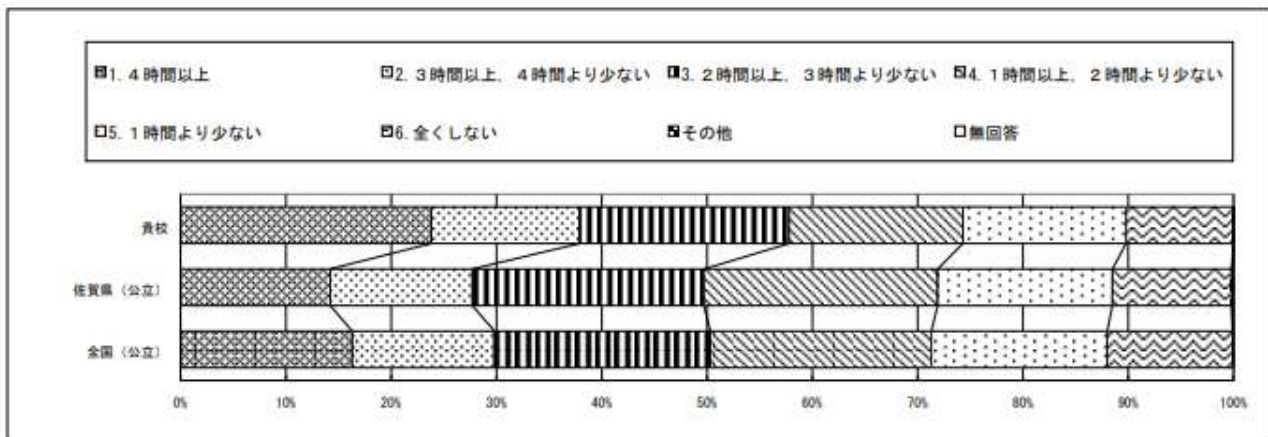
3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校生徒の姿

・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して肯定的回答をしている生徒が全国の割合を上回っていました。目標に向かってきちんと取り組むことができていると考えることができます。

・「朝食を毎日食べている」と回答した生徒の割合は 80.1%で、全国の割合を上回っていました。また、「毎日同じくらいの時刻に起きている」と回答した生徒の割合も全国の割合を上回っていました。毎日の家庭生活を規則正しく過ごすことができていることがうかがえます。

・「2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」の質問に対して肯定的回答をしている生徒が全国の割合を上回っていました。授業で根拠をもとに表現をする活動を行っていたことが大きいと考えます。

・「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」については3時間以上ゲームをしている割合が全国を大きく上回っていました(下の表)。また、「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか」についても同様の結果が見られました。



4 今後の改善策 (生徒の力をさらに伸ばすために)

- ・数学、英語において、教師二人による TT 授業を行い、きめ細かな指導による学習内容の定着を図ります。
- ・めあての提示、振り返りを授業の流れとし、電子黒板を活用して内容を視覚的に捉えさせ、1時間の見通しがもてる授業に取り組みます。
- ・各教科において、グループ活動を積極的に取り入れ、生徒の自主的、意欲的な学習を促すとともに、学習内容を深める活動に取り組みます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習時間をつくってください。

【学習時間：学年+1時間を目安にしましょう】

- ◎学習する時間や時間帯を決め、取り組ませることで学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。
- ◎苦手教科やテスト直し等復習を中心とした自主学習に取り組ませましょう。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。
- ◎学校での出来事や部活動のこと、読んでいる本の内容などについて話し合しましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。
- ◎地域の行事に積極的に参加する経験を増やし、地域や社会をよくするために何をすべきか話し合しましょう。